参考資料３

# ■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R4）

【取組機関・オブザーバー】
●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】
・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新
・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組
・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

| | 取組項目 | 種別 | 目標時期 | 取組事例・取組イメージ | ① 取組機関 | | | | | | | | オブザーバー | | | 取組機関 | | | | | | | | | | オブザーバー | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | JR西日本 | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 地方気象台 | 津地方気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | JR西日本 |
| **柱①：水害リスク情報等の更なる充実と自主防災意識の向上による安全な住民避難等の実践** | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 洪水時の河川管理者と関係市町村との連携の検証と改善 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼洪水時のホットライン等による連携会議の検証と改善 | ● | ● | ● | － | ● | ● | ● | ○ | ● | － | － | － | 実施中<br>・関係市とのﾎｯﾄﾗｲﾝを構築済<br>・毎年、年度当初の洪水対応演習時に、ﾎｯﾄﾗｲﾝの訓練を実施<br>・R4.5.28 国、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施<br>河川課 | 実施中<br>洪水時のホットライン等による連携会議の検証<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | － | 実施中<br>県管理の水位周知河川（熊野川、板屋川）において、ホットラインを構築し、運用している。<br>※ | 実施中<br>タイムライン始動後には、連携会議を開催し、随時、検証と改善を実施している。<br>－ | 実施中（100%）<br>・産田川、板屋川のホットラインを構築<br>・熊野川総合水防演習において訓練実施<br>※ | 実施中<br>実施する機会がなかった。<br>－ | 実施中<br>実施の機会なし。<br>－ | 実施中<br>紀宝町タイムライン連携会議の実施<br>洪水対応演習でのホットライン実施<br>－ | － | － | － |
| 2 | タイムラインの検証と改善及び各機関のタイムラインの共有 | 応用 | 継続的に実施 | ▼関係機関のタイムラインの共有・検証・改善、▼多機関連携型タイムラインの検討 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － | ● | － | － | － | 実施中<br>・市、国、県、気象台で新宮市タイムライン協定を締結済。協定に基づき情報提供等を実施<br>河川課 | 実施済<br>関係機関のタイムラインの共有・検証・改善、多機関連携型タイムラインの検討<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 未実施<br>－<br>未検討 | 実施中<br>県管理の水位周知河川（熊野川、板屋川）において、水害対応タイムラインの検証を行い、必要に応じて更新を行う。<br>※ | 実施中<br>タイムライン始動後には、連携会議を開催し、随時、検証と改善を実施している。<br>－ | 実施中（100%）<br>・熊野市版タイムラインを必要に応じ修正<br>※ | － | － | 実施中<br>熊野川流域タイムライン（案）の作成<br>今年度は直轄区間を対象に準備中 | － | － | － |
| 3 | 大規模水害に対する広域的な避難対策の検証 | 応用 | 継続的に実施 | ▼水害リスク、感染拡大防止等を踏まえた広域避難の必要性検討、▼広域避難計画の立案 | ○ | ● | ● | ● | － | － | ● | － | ○ | － | － | － | 実施済<br>・地域防災計画で広域で避難者及び傷病者の受け入れ協定を締結<br>（関西広域連合と九州地方知事会との災害時の相互応援に関する協定等）<br>（防災企画課） | 実施済<br>広域避難の必要性の検討（風水害時不要）<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 未実施<br>－<br>未検討 | － | － | 未実施<br>－<br>－ | － | － | 未実施 | － | － | － |
| 4 | 水害リスク情報の充実（水害リスク空白域の解消、内外水一体・多段階型浸水想定等）・周知 | 応用 | 継続的に実施 | ▼内外水一体、多段階型の浸水想定区域図作成、▼水害リスク情報の空白域の解消 | ● | ● | － | － | ● | － | － | － | ● | － | － | － | 実施中<br>・R4年度に中小河川の洪水浸水想定区域図を作成予定<br>・多段階型浸水想定区域図作成は今後検討予定<br>河川課 | 実施済<br>浸水実績等の周知（HM等）<br>－ | － | － | 実施済（100%）<br>新宮川水系の県管理河川全てにおいて、洪水浸水想定区域図の作成・公表を行う。<br>－ | － | － | － | － | 実施中<br>新宮川水系河川整備方針の見直しに伴う、浸水想定区域の見直し<br>多段階浸水想定区域図の作成<br>－ | － | － | － |
| 5 | 水害リスク情報を活用した水害ハザードマップの作成（更新）・周知 | 応用 | 継続的に実施 | ▼No4の情報を活用した水害ハザードマップの作成、▼Web版ハザードマップの展開 | ○ | ● | ● | ● | ○ | ● | ● | － | ○ | － | － | － | 未実施<br>・中小河川の洪水浸水想定区域図を作成後、関係市町村に提供する<br>（河川課） | 実施済<br>No4の情報を活用した水害ハザードマップ及びWeb版ハザードマップの作成<br>－ | 実施済（100%）<br>洪水ハザードマップ（修正版）の作成（R元年度）<br>－ | 未実施<br>－<br>未検討 | 実施中<br>県HPによるハザードマップの周知<br>※ | 実施済<br>令和４年３月に洪水防災マップを作成し、全戸配布済。<br>－ | 実施済（100%）<br>R2年度に井戸川、産田川・志原川、熊野川・板屋川版を作成。R4年度以降その他河川について検討中。<br>－ | － | － | 未実施<br>No.4見直しによる浸水ナビ等更新 | － | － | － |
| 6 | 不動産関連業者に対し、水害リスク情報の更なる充実と情報提供 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼不動産業者へのNo4の情報も含めた水害リスクの情報提供 | ● | － | － | － | ● | － | － | － | ● | － | － | － | 未実施<br>・中小河川の洪水浸水想定区域図を作成後、ホームページ等で公表を行い、情報提供する<br>河川課 | － | － | － | 実施済（10%）<br>新宮川水系の県管理河川全てにおいて、洪水浸水想定区域図の作成・公表、プレスリリースを行うとともに、作成データをオープンデータ化し、情報提供体制を構築する。<br>－ | － | － | － | － | 実施中<br>不動産業者へ情報提供済（問い合わせ等）<br>－ | － | － | － |
| 7 | 防災意識の向上に資する出前講座や水災害教育等の推進 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼出前講座・防災授業等の実施 | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | ● | ○ | ● | － | － | － | 実施中<br>・「出張！減災教室」を随時実施<br>・地域防災リーダー育成のための「紀の国防災人づくり塾」を開催<br>・R4.5.24に警察、R4.8.2に消防へ防災授業を実施<br>河川課<br>危機管理・消防課 | 実施中<br>出前講座の実施（随時実施）<br>－ | 実施中<br>まちづくり学びあい講座により防災講座を実施<br>－ | 未実施<br>－<br>検討中<br>コロナ禍であるため保留 | 実施中<br>要請があれば、出前講座等を実施する<br>進捗率は要請数によるため未記入 | 実施中<br>継続的に実施中。<br>－ | 未実施<br>－<br>－ | 実施中（75%）<br>自治体向けの防災に初めて携わる方向けの初任講習会を実施。また気象台長と各職員が自治体に出向き、気象庁が新たに取り組む情報や変更などを解説している。<br>－ | 実施中（完了2件）<br>市町職員を対象とした防災研修や気象防災ワークショップを実施した。<br>－ | 実施中<br>防災授業実施予定<br>－ | － | － | － |

【取組機関・オブザーバー】

●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】

・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

| | 取組項目 | 種別 | 目標時期 | 取組事例・取組イメージ | ① 取組機関 | | | | | | | | オブザーバー | | | 取組機関 | | | | | | | | | | オブザーバー | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | ＪＲ西日本 | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 地和歌山方気象台 | 津地方気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | ＪＲ西日本 |
| 8 | 平時からの適切な避難行動に資する取組の推進 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼避難訓練・防災訓練、▼避難対策ワークショップ、▼まるまち、▼避難誘導表示版設置、等 | ● | ● | ● | ● | － | ● | ● | － | ○ | － | － | － | 実施中<br>・市町村における「避難対策ワークショップ」の開催を支援<br>【R３年度実績：海南市（水害・土砂）、有田市（水害）、田辺市（津波）】<br>・市町村が実施する避難誘導灯の設置など避難路整備に対して「わかやま防災力パワーアップ補助金」にて支援<br>防災企画課 | 実施済<br>避難所看板の設置<br>－ | 実施中<br>毎年９月に防災訓練を実施（３地区３周期）<br>－ | 未実施<br>－<br>検討中<br>コロナ禍であるため保留 | － | 実施中<br>継続的に実施中。<br>－ | 実施中（100%）<br>井戸川流域で「Myまっぷラン＋」を実施しマイタイムライン作成。R5年度以降も実施予定。<br>※ | － | － | 実施中<br>各市町等への防災訓練への参加 | － | － | － |
| 9 | 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進や避難の実効性確保に資する取組の推進 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼要配慮者利用施設管理者への説明会、▼要配慮者利用施設での避難確保計画の作成、▼避難訓練の実施 | ○ | ● | ● | － | ○ | ● | － | － | ○ | － | － | － | 実施中<br>・市町村地域防災計画に要配慮者利用施設が記載されていない場合は、適宜指導している。<br>・市町村に対し、半年に一度避難確保計画、避難訓練の実施状況の調査を行い、避難確保計画の作成等を促している。<br>（河川課）<br>（防災企画課） | 実施済（100%）<br>要配慮者利用施設での避難確保計画の作成、避難訓練の実施<br>－ | 実施中<br>作成した洪水ハザードマップ（修正版）において浸水域の要配慮者利用施設に避難確保計画の作成を促している。<br>－ | － | 実施中<br>避難確保計画の策定及び訓練の実施を呼びかける<br>※ | 実施中<br>要配慮者利用施設での避難確保計画については、策定済。今後は、当計画に基づく避難訓練を推進する。<br>－ | － | － | － | 実施中<br>要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援の実施<br>－ | － | － | － |
| 10 | 共助に関する取組事例の共有、取組強化 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼自主防災活動の手引き作成、▼自主防災組織が行う訓練等の支援 | － | ● | ● | ● | － | ● | ● | － | ○ | － | － | － | － | 実施済<br>自主防災活動の手引き作成<br>－ | 実施中<br>地域の自主防災組織が行う訓練や資機材等の整備などの活動を自主防災組織育成事業等補助金により支援<br>－ | 実施中<br>－<br>検討中<br>コロナ禍であるため保留 | － | 実施中<br>各自主防災組織が行う防災訓練等の支援・協力を実施中。<br>－ | 実施中（100%）<br>市内自主防災組織が行う訓練等の支援実施<br>※ | － | － | 未実施 | － | － | － |
| 11 | コミュニティタイムラインやマイ・タイムラインの普及・促進 | 応用 | 継続的に実施 | ▼紀宝町地区タイムラインの展開、▼マイ・タイムラインの作成支援 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | － | － | － | 実施中<br>・マイ・タイムラインの作成を促進するため、市町村における「避難対策ワークショップ」の開催を支援<br>防災企画課 | 実施中<br>ハザードマップの利用（個人での記入等作業ヶ所有）推進による個別の計画作成<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 未実施<br>－<br>未検討 | 実施中<br>県災害対策本部及び熊野地方部におけるタイムラインの作成<br>※ | 実施中<br>継続的に未策定地区の地区タイムライン策定に向けて、普及・促進を実施中。<br>－ | 実施中（100%）<br>井戸川流域で「Myまっぷラン＋」を実施しマイタイムライン作成<br>※ | 実施中<br>実施する機会がなかった。<br>－ | 実施中（完了1件）<br>紀宝町タイムラインに沿って、台風第4号についての気象解説を実施した。<br>－ | 実施済<br>高齢者福祉施設のタイムライン作成支援<br>－ | － | － | － |
| 12 | SNS等を活用したリスクコミュニケーションの検討 | 発展 | 継続的に実施 | ▼SNS等を活用した即時性の高い情報発信・共有・活用方策の検討 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － | － | － | 実施中<br>・プッシュ型で情報発信が可能な防災ポータルアプリ「和歌山県防災ナビ」を開発<br>・Twitterを活用した情報発信<br>防災企画課<br>災害対策課 | 実施済<br>SNS（LINE、Facebook、Twitterなど）による防災情報の発信<br>－ | 実施中<br>防災メールや市公式ＳＮＳ等で防災情報を提供<br>－ | 実施済（100%）<br>lineによる情報発信・共有<br>－ | 実施中<br>県災害対策本部によるSNS（Twitter等）の運用<br>※ | 実施中<br>Twitterや町HP、メールによる防災無線放送内容配信中。<br>－ | 実施中（100%）<br>・防災行政無線と連携したSNS（ツイッター、LINE）による情報発信お実施<br>※ | 未実施<br>気象庁本庁、大阪管区気象台で実施している。<br>－ | 実施中<br>気象庁において、Twitterを活用した防災情報の発信を行っている。<br>－ | 実施中<br>事務所Twiiterで水防警報、洪水予報、発信時や一定雨量以上等の雨量情報等を提供<br>－ | － | － | － |
| 13 | 感染症拡大防止等を考慮した避難施設(民間施設等を活用した緊急的な避難先を含む)の充実 | 応用 | 継続的に実施 | ▼避難所・避難路の整備、▼高台整備、▼避難所内の設備充実 | ○ | ● | ● | ● | ○ | ● | ● | － | ○ | － | － | － | 実施中<br>・市町村が実施する避難路整備や避難所に必要な物資の整備費用に対して「わかやま防災力パワーアップ補助金」にて支援<br>（防災企画課） | 実施済<br>避難所装備（感染症対策）の充実、多様な避難先の確保（ホテル避難への補助）<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 実施済（100%）<br>避難所における感染症対策備品の備蓄<br>－ | 実施中<br>避難所での感染拡大防止に向けて医療保険部局との自宅療養者等についての情報共有<br>※ | 実施中<br>継続的に避難路や高台整備を実施中。<br>－ | 実施中（100%）<br>間仕切り、簡易ベッドなど感染症対策を考慮した避難所施設の充実を図る<br>※ | － | － | 実施中<br>掘削土砂の受入地として、高台を整備 | － | － | － |
| 14 | 感染症拡大防止を考慮した防災行動計画や避難計画等の更新と訓練の実施 | 応用 | 継続的に実施 | ▼避難計画、タイムラインの更新、▼感染症拡大に配慮した避難所訓練の実施 | ○ | ● | ● | ● | ○ | ● | ● | － | ○ | － | － | － | 実施中<br>・「市町村避難所運営マニュアル作成モデル」を策定し、感染症拡大防止等を考慮した避難所運営について市町村に周知<br>・策定済のタイムラインを必要に応じ見直し<br>（河川課）<br>（防災企画課） | 実施済<br>避難所の感染症対策マニュアルの作成とそれに基づく避難所設置・受入訓練の実施<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 実施済（100%）<br>令和3年度3月時点において防災計画の改訂<br>－ | 実施中<br>避難所での感染拡大防止に向けて医療保険部局との自宅療養者等についての情報共有<br>※ | 実施中<br>継続的に実施中。<br>－ | 実施中（100%）<br>R4年度紀和町板屋川流域で避難所運営マニュアル作成事業実施中<br>※ | － | － | 未実施 | － | － | － |

※進捗率は数値による管理が困難であるため未記入

※進捗率については、継続的に実施している取組みであり、数値では表せない内容であるため、完了1、全体1と記載している

# ■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R4）

【取組機関・オブザーバー】

●:取組対象（主体）　○:取組対象（支援・協力）　－:取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】

・基礎継続:これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用:これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展:これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

| | 取組項目 | 種別 | 目標時期 | 具体事例・取組イメージ | ① 取組機関 | | | | | | | | | オブザーバー | | | 取組機関 | | | | | | | | | | オブザーバー | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | JR西日本 | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 和歌山県地方気象台 | 津地方気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | JR西日本 |
| **柱②:情報の一元化や情報発信の見える化等による情報伝達体制の高度化・効率化** | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | ICT等を活用した効果的な情報提供の継続・推進 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼緊急速報メール等のプッシュ型での情報提供、▼SNS等での情報提供 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － | － | － | 実施中<br>・和歌山県防災ナビアプリで河川水位情報、土砂災害危険度情報等を配信<br>・防災わかやまウェブページで指定河川洪水情報を配信<br>・防災わかやまメールで河川洪水予報、河川水位情報を配信<br>・緊急速報メールで避難情報を周知する（指定河川洪水警報が発表され、併せて避難情報が発表され、該当市町村からの配信の要望があったとき配信）<br>・Twitterを活用した情報発信 | 実施済<br>避難情報等の緊急速報メールのプッシュ型情報提供、SNS等での情報提供 | 実施中<br>防災メールや市公式ＳＮＳ等で防災情報を提供 | 実施済<br>ｌｉｎｅによる情報提供 | 実施中<br>メールやSNSでの情報提供 | 実施中<br>防災タブレットを全自主防災組織に配布。台風などの最新情報をいち早く得ることができる。 | 実施中（100%）<br>・防災行政無線と連携したSNS（ツイッター、LINE）による情報発信を実施 | 実施中<br>防災情報提供システムでの通知メールやキキクル（危険度分布）の通知サービスでの情報提供 | 実施中<br>気象庁HPにおいて防災情報の提供、防災提供システムにおいては通知メールによる防災情報の提供をしている。 | 実施済<br>氾濫危険情報を出す際に緊急速報メールを実施<br>事務所Twiterで水防警報、洪水予報、発信時や一定雨量以上等の雨量情報等を提供 | － | － | － |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 防災企画課 | － | － | － | 進捗率は数値による管理が困難であるため未記入 | － | ※ | － | － | － | | | |
| 16 | 避難行動、水防活動に繋がる観測施設（水位計、雨量計、河川監視用カメラ）等の整備・配信 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等の整備・配信、▼避難目安水位ラインの整備・周知 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － | － | ● | － | － | － | 実施中<br>・県ホームページの「和歌山県河川／雨量防災情報」で、水位情報やカメラ画像を配信している。<br>・熊野川（本宮区間）大居、熊野川（日足区間）宮井及び北山川七色に河川監視カメラを設置している。 | 実施済<br>河川監視カメラの整備（9台）内２台の外部公開（HP上） | 実施中<br>・河川監視カメラの設置、水位観測（H29、H30年度）<br>・防災無線放送（デジタル）（H29、H30年度） | 実施済<br>リアルタイムによる河川監視カメラ | ※1<br>危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラを整備・配信する。 | 実施中<br>防災タブレットを全自主防災組織に配布したことで、紀宝町防災情報共有システムから雨量・水位・ダム・防災力カメラで状況をいち早く情報配信ができる。 | － | － | － | 実施済<br>危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの整備・配信済<br>避難目安水位ライン（成川・高岡・下田）の整備・周知済 | － | － | － |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 河川課 | － | － | － | ※1：R8以降に実施する予定 | － | | | | － | | | |
| 17 | 各管理者の情報を効果的に配信できる仕組みの必要性の確認と構築 | 応用 | 継続的に実施 | ▼関係機関の減災に資する平時からの取組、洪水時の対応状況、水防資機材の状況等の情報を共有する必要性や仕組みの確認・構築 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | 実施中<br>・毎年度水防計画を更新・共有し、水防資機材の状況等の情報共有を図っている。 | 実施済<br>平時からの河川管理者との情報共有等 | 未実施<br>情報共有には至っていない | 未実施<br>－ | 未実施<br>検討中 | 実施中<br>継続的に実施中。 | 実施中（100%）<br>・R4年度、防災情報集約システムを導入 | 実施中<br>気象台担当者によるキキクル（危険度分布）や情報の解説。出水期前の気象台と河川事務所との洪水予報の発信訓練を複数実施している。 | 実施中（完了4件）<br>三重県内の国指定河川において、河川管理者と洪水演習を実施している。 | 未実施<br>－ | 実施中（92.9%）<br>・新宮川水系各ダム情報（フリーダイヤル）の回線増強<br>・情報伝達ルートの多重化（無線通信のルール化、衛星電話の設置）<br>・インターネットによるダム情報の提供（国土交通省が管理・運営するインターネットサイト「川の防災情報」への当社ダムの情報を掲載） | 未実施<br>関西電力として主体的な実施内容なし。<br>関係機関からの情報を入手・共有に努めている。 | 未実施<br>－ |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 河川課 | － | － | 未検討 | － | － | ※ | － | － | － | － | 新宮川水系_既存ダムの洪水調節機能強化に向けた協議の場（メーリングリスト）を通じて情報共有している。 | 特になし |
| 18 | 雨量・水位・ダム放流情報等の一元化の検討 | 応用 | 継続的に実施 | ▼熊野川流域での雨量・水位・ダム放流等の一元化、▼各情報の効率的・実用的な活用方法の検討 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | － | 実施中<br>・県ホームページの「和歌山県河川／雨量防災情報」で、水位情報やカメラ画像を一元化して配信している。 | 実施済<br>関係機関が集約した情報サイトを避難情報発出の際などに活用 | 未実施<br>基本的には和歌山県河川雨量防災情報により情報取得しているが、市の観測データとの一元化には至っていない | 未実施<br>－ | 実施済（100%）<br>川の防災情報へ雨量・水位等の情報を掲載する。 | 実施中<br>紀宝町防災情報提供システムにより、雨量・水位・ダム放流情報等の一元化済。 | 未実施<br>－ | 実施中<br>水害リスクラインとキキクル（危険度分布）の統合を検討中。 | 実施中<br>水害リスクラインと洪水ククルの統合を予定している。 | 実施中<br>川の防災情報における情報提供 | 実施済（100%）<br>・インターネットによるダム情報の提供（国土交通省が管理・運営するインターネットサイト「川の防災情報」への当社ダムの情報を掲載） | 実施中<br>「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針」に基づき、河川管理者へのダム情報の整備（情報の送信）を検討・協議中。 | － |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 河川課 | － | － | 未検討 | － | － | － | － | － | － | － | － | |
| 19 | ダム放流による水位変動見込み等の情報提供の検討 | 応用 | 継続的に実施 | ▼ダム放流見込みによる下流区間水位の影響検討、▼今後のダム放流見込みの共有方法の調整・検討 | ● | － | － | － | ● | － | － | － | ● | ○ | ○ | － | 実施中<br>二津野ダム、小森ダム、七色ダム、池原ダム（電源開発(株)）の放流情報をFAX、県ホームページで共有している。 | － | － | － | 実施中（0%）<br>ダム洪水調節機能協議会に参画し、協議会の中で検討する。 | － | － | － | － | 未実施<br>－ | 実施中（50%）<br>・洪水量以上の毎正時、関係機関へ放流量の増減傾向を通知<br>・降雨・流入予測の高度化（検討中） | 実施中<br>新宮川水系_既存ダムの洪水調節機能強化に向けた協議の場（メーリングリスト）を通じて情報共有している。 | － |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 河川課 | | | | － | | | | | － | － | － | |

【取組機関・オブザーバー】

●:取組対象(主体)　○:取組対象(支援・協力)　－:取組対象外

※取組対象(主体)は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】

・基礎継続:これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用:これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組
・発展:これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

| | 取組項目 | 種別 | 目標時期 | 取組事例・取組イメージ | ① 取組機関 | | | | | | | | オブザーバー | | | 取組機関 | | | | | | | | | | オブザーバー | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | JR西日本 | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 地方気象台 | 津地方気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | JR西日本 |
| 20 | 洪水予測の周知・活用と予測技術の向上(水位予測、氾濫予測、長時間予測等) | 応用 | 継続的に実施 | ▼幅を持った水位予測、▼予測の長時間化、▼リアルタイム氾濫予測、▼ダム運用、避難、水防等での活用検討 | ● | － | － | － | ● | － | － | ● | ● | － | － | － | 実施中<br>熊野川において、洪水予報（水位予測）を行い、出水時に関係機関へ周知している。<br>取組に関する不明点・意見等：取組項目の用語を修正<br>「洪水予測」→「洪水予報」<br>その他：河川課 | － | － | － | 実施中（0%）<br>一級水系の本川・支川が一体となった洪水予測モデルを構築する。<br>近畿地整が主体となり実施中 | － | － | 実施中<br>水位予測に必要な雨量や雨量予測を提供している。R4年6月より、予測で氾濫危険情報を発表。<br>－ | 実施中<br>気象庁からは、ダムの事前放流に関する降水量の予測データを提供している。<br>指定河川洪水予報では、今年の6月から、予測による氾濫危険情報を発表することとしている。<br>－ | 実施中<br>水害リスクラインにおける水位予測<br>－ | － | － | － |
| 21 | 鉄道事業者との連携による社会経済被害最小化に繋げる検討及び実践 | 応用 | 継続的に実施 | ▼洪水予測の鉄道事業者への提供、▼鉄道事業者の防災行動計画作成支援 | － | ○ | － | － | － | ○ | － | － | ● | － | － | ○ | － | 実施中<br>地域防災計画への鉄道事業者の防災行動計画の記載・検討<br>－ | － | － | － | 未実施<br>洪水防災マップをＨＰにより、情報提供している。<br>取組の具体が不明。 | － | － | － | 未実施<br>－<br>－ | － | － | 未実施<br>－<br>今後必要な事柄があれば意見等交わしていきたい |
| 22 | メディアとの連携による避難に資する河川情報提供の検討及び実践 | 応用 | 継続的に実施 | ▼メディアとの連携による切迫した河川情報の配信、呼びかけの工夫、▼『和歌山県域メディア協議会（仮称）』での取組検討・実践 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | － | 実施中<br>・R4.5.27に『和歌山県域メディア連携協議会（勉強会）』を実施し、協議を行った。<br>河川課 | 実施中<br>防災情報システムのレアラート情報連携機能による情報提供<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 未実施<br>－<br>未検討 | 未実施<br>検討中<br>－ | 未実施<br>－<br>取組の具体が不明。 | 未実施<br>－<br>－ | 実施中<br>和歌山県域メディア協議会に参画し、取り組みを継続している。<br>－ | 実施中<br>NHKのデータ放送において、毎月気象台から情報を提供し、放送してもらっている。<br>－ | 実施中<br>5/27和歌山県域メディア連携協議を実施。<br>－ | 実施済（100%）<br>・ダム放流量等の情報を関係行政等へ提供済<br>－ | 未実施<br>関西電力として主体的な実施内容なし。<br>関係機関との情報交換・共有に努めている。<br>－ | － |
| 23 | リスク情報や治水事業効果の見える化 | 発展 | 継続的に実施 | ▼ハザードマップの3次元化、▼VR技術の活用 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | － | － | － | 未実施<br>－<br>河川課 | 実施中<br>ジオラマ（国作成浸水モデル）の活用によるリスク情報や治水事業効果の周知<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 未実施<br>－<br>未検討 | 未実施（0%）<br>－<br>具体的な実施内容を検討中 | 未実施<br>－<br>現時点では、考えていない。 | 未実施<br>－<br>－<br>※進捗率については、継続的に実施している取組みであり、数値では表せない内容であるため、完了1、全体1と記載している | 実施中<br>実施する機会がなかった。<br>－ | 実施中<br>実施の機会なし。<br>－ | 未実施<br>－<br>－ | － | － | － |

## ■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R4）

【取組機関・オブザーバー】

●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】

・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

| | 取組項目 | 種別 | 目標時期 | 取組事例・取組イメージ | ① 取組機関 | | | | | | | | オブザーバー | | | 取組機関 | | | | | | | | | | オブザーバー | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | JR西日本 | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 和歌山地方気象台 | 津地方気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | JR西日本 |
| **柱③：地域との連携強化による迅速かつ効果的な水防活動の実践** | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | 消防団等への連絡体制の定期的な確認と伝達訓練の実施 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼消防団との情報伝達訓練、▼消防団の連絡体制の確認・強化 | － | ● | ● | ● | － | ● | ● | ● | ● | － | － | － | － | 実施済<br>配布の戸別受信機による情報伝達確認（月１回）<br>－ | 実施中<br>水位観測により水防配備体制は確立されている。<br>－ | 実施済<br>ｌｉｎｅによる伝達を主とする<br>訓練等は未実施<br>－ | － | 実施中<br>継続的に実施中。<br>－ | 実施済（100%）<br>・各方面隊ごとに遠距離放水訓練を実施し、その中で情報伝達訓練を行った。<br>・年度初めに消防団幹部の連絡先の確認を行っている。<br>・火災等の事案発生情報を消防団幹部へメール配信している。<br>－ | 実施中（完了1件）<br>洪水予報の伝達演習を実施。また、気象庁ホームページで雨量データなどを公開している。<br>－ | 実施中（完了1件）<br>三重県内の国指定河川において、河川管理者と洪水演習を実施しており、その際、伝達訓練も併せて実施している。<br>－ | 実施中<br>洪水予報連絡会や水防警報等を通じて確認・強化している<br>－ | － | － | － |
| 25 | 必要な水防資機材の配備 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼必要な水防資機材の確認・検討・補充 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － | ● | － | － | － | 実施中<br>・新宮建設部にエンジンポンプ（3.2m3/分）5基を配備済<br>・必要に応じ点検・補充を行う<br>河川課 | 実施中<br>必要な水防資機材の確認・検討・補充<br>－ | 実施済<br>必要な水防資機材の確認・補充<br>－ | 実施中<br>必要資機材において常時検討中<br>－ | 実施中<br>年に1回程度保有数を確認し、必要に応じて補充する。<br>進捗率は数値による管理が困難であるため未記入 | 実施中<br>継続的に実施中。<br>－ | 実施済（100%）<br>ライフジャケットを各分団に配備<br>－ | － | － | 実施中<br>必要な水防資機材の確認・補充を実施<br>－ | － | － | － |
| 26 | 関係機関と連携した実働水防演習の実施・継続 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼地域（行政、消防団等）での水防演習の実施、▼流域での多機関連携による水防演習の実施 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － | － | － | 実施中（100%）<br>R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施<br>河川課<br>（災害対策課） | 実施済<br>総合水防演習への参加<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 未実施<br>－<br>コロナ禍であるため保留中 | 実施済（100%）<br>R4に近畿地整、和歌山県、関係市町村等と連携し、熊野川総合水防演習を実施<br>－ | 実施中<br>令和4年度熊野川総合水防演習に参加。<br>また、紀宝町消防団において、水防工法訓練を実施。<br>－ | 実施済（100%）<br>国が主催の熊野川水防総合演習で実施した。<br>－ | 実施中<br>熊野川総合水防演習のシナリオ作成などに携わり、訓練に参画。<br>－ | 実施中<br>実施の機会なし。<br>－ | 実施済<br>熊野川総合水防演習の実施<br>－ | － | － | － |
| 27 | 消防団等の避難場所の確保 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼水防活動、避難経路等を踏まえた避難場所の検討、確保 | － | ● | － | － | － | ● | ● | － | － | － | － | － | － | 実施済<br>水防活動、避難経路等を踏まえた避難場所の検討、確保、退避基準の設定<br>－ | － | － | － | 実施中<br>継続的に実施中。<br>－ | 未実施<br>－<br>－ | － | － | － | － | － | － |
| 28 | 水防協力団体の募集・指定を促進 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼消防団の募集促進、▼ホームページ、広報誌への掲載 | － | ● | ● | ● | － | ● | ● | － | － | － | － | － | － | 実施中<br>消防団の募集促進、ホームページ、広報誌への掲載<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 未実施<br>－<br>加入可能であろう人員については勧誘済<br>地区ごとの人数を含め調整中 | － | 実施中<br>継続的に実施中。<br>－ | 実施中<br>主に各分団長に地域で入団の促進を行っていただいている。<br>－ | － | － | － | － | － | － |
| 29 | 消防団や地域住民が参加した重要水防箇所及び水防資材の共同点検等の実施 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼関係者による重要水防箇所や水防資機材等の現地確認、▼重要水防箇所の更新・周知 | － | ● | ● | ● | － | ● | ● | － | ● | － | － | － | － | 実施済<br>係者による重要水防箇所や水防資機材等の現地確認<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 実施中<br>常時確認・更新中<br>－ | － | 実施中<br>継続的に実施中。<br>－ | 実施済（100%）<br>各分団により年１回資機材の点検報告を実施している。<br>－ | － | － | 実施中<br>県水防計画に重要水防箇所の更新周知を実施<br>－ | － | － | － |
| 30 | 庁舎、災害拠点病院等に関する水害リスク情報の共有 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼No4の情報も含めた情報共有、▼管理者への水災害リスク情報の説明 | ● | ● | ● | ● | － | ● | － | － | － | － | － | － | 実施中<br>・本庁、振興局庁舎においては、水害時でも災害対応できるよう対応済み（浸水想定区域内であっても本部機能は２階以上に置くなど）<br>・中小河川の洪水浸水想定区域図を作成後、ホームページ等で公表を行い、情報提供する<br>河川課<br>災害対策課 | 実施済<br>No4の情報も含めた情報共有とそれを踏まえた研修等の実施<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 未実施<br>－<br>No4が該当外のため | － | 実施中<br>継続的に実施中。<br>－ | － | － | － | － | － | － | － |
| 31 | 大規模水災害発生時の庁舎等の機能維持及び重要資機材への影響の確認と有効な対策の実施 | **応用** | 継続的に実施 | ▼施設の建て替え、▼防災拠点施設の整備 | － | － | － | － | － | ● | － | － | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | 実施済<br>防災拠点施設を整備済。<br>－ | － | － | － | 実施中<br>本局の庁舎移転実施（大手前合同庁舎）<br>－ | － | － | － |

## ■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R4）

【取組機関・オブザーバー】

●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】

・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

| | 取組項目 | 種別 | 目標時期 | 取組事例・取組イメージ | ① 取組機関 | | | | | | | | オブザーバー | | | 取組機関 | | | | | | | | | | オブザーバー | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | JR西日本 | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 和歌山地方気象台 | 津地方気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | JR西日本 |
| **柱④：氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策の推進** | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | 河道掘削・低水護岸整備・堤防整備等の継続 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼熊野川（直轄区間）河道掘削、▼築堤・護岸整備、▼沿川道路・背後地嵩上げ | ● | － | ● | － | ● | － | － | － | ● | － | － | － | 実施中<br>・熊野川：整備計画区間にて、輪中堤、河道掘削を実施中。<br>・佐野川：整備計画区間にて、護岸整備、河道掘削を実施中<br>河川課 | － | 実施済<br>令和３年度まで実施<br>令和４年度以降計画未定 | － | 実施済<br>熊野川（県管理区間）については、令和３年に整備計画に基づく河道掘削を実施済み<br>令和４年度より北山川等において河道の維持掘削を実施予定<br>－ | － | － | － | － | 実施中<br>河道掘削（成川・池田地区、あけぼの・鵜殿地区）、護岸整備（北檜杖地区、大里地区）の実施<br>－ | － | － | － |
| 33 | 粘り強い堤防整備等の危機管理型ハード対策の検討・実施 | 発展 | 継続的に実施 | ▼越水時に決壊しにくい堤防構造の検討・実施 | － | － | － | － | ● | － | － | － | ● | － | － | － | － | － | － | － | 実施中（16.7%）<br>北山川において、令和3年度より堤防強化事業に取り組んでおり、今後も継続して実施する。<br>－ | － | － | － | － | 未実施 | － | － | － |
| 34 | 市田川流域大規模浸水対策など内水対策（ハード対策）の実施 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼雨水排水ポンプの整備、▼都市下水路整備の検討・実施 | ○ | ● | － | － | － | ● | － | － | ○ | － | － | － | 実施済<br>・浮島川排水機場の排水機能の強化のため、補助ポンプ整備済<br>（河川課） | 実施中<br>雨水排水ポンプ増強（2.0m3/s）R6完成予定<br>－ | － | － | － | 実施中<br>成川深谷地区浸水対策事業の実施中。<br>（R4年度　詳細設計業務予定）<br>－ | － | － | － | 実施中<br>市田川排水機場ポンプ増強 | － | － | － |
| 35 | 砂防事業の継続 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼砂防堰堤の整備、▼砂防施設の維持管理 | ● | － | － | － | ● | － | － | － | － | － | － | － | 実施中（66.7%）<br>土石流等土砂災害の危険性のある渓流等に砂防施設を整備<br>砂防課 | － | － | － | 実施中（0%）<br>流域内の４渓流において砂防事業を実施中<br>－ | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 36 | 利水ダム事前放流の実施や流域での雨水貯留機能の向上 | 応用 | 継続的に実施 | ▼ダム管理者と連携した利水ダム事前放流の運用、▼雨水貯留浸透施設整備の検討・実施 | ○ | ● | ● | ● | ○ | ● | ● | － | ○ | ○ | ○ | － | 実施中<br>各協議会において構成員として参画し、取組を推進<br>・熊野川減災協議会（R4.3.25）<br>・新宮川水系ダム洪水調節機能協議会（R4.6.1）<br>・熊野川の総合的な治水対策協議会（R4.6.8）<br>・熊野川流域治水協議会（R4.3.25）<br>取組に関する不明点・意見等：近畿地整、和歌山県、三重県は新宮川水系ダム洪水調節機能協議会の構成員となっており、「●：取組対象（主体）」と考えらえる。<br>その他：（河川課） | 実施中（33.3%）<br>雨水貯留浸透施設整備の検討・実施<br>（王子ヶ浜小、緑丘中完了）<br>－ | 実施中<br>ダム管理者と連携した利水ダム事前放流の運用<br>－ | 未実施<br>－<br>電源開発による事前放流が行われている<br>連携等はしていない | 実施中（0%）<br>必要に応じて、事前放流をより効果的に行えるよう情報提供を行う。<br>－ | 実施中<br>継続的に実施中。<br>－ | 未実施<br>－<br>－ | － | － | 実施中<br>新宮川水系洪水調節機能協議会でダム管理者と連携した利水ダム事前放流の運用を実施<br>－ | 実施中（100%）<br>・治水協定の基づく運用を実施中<br>－ | 実施中<br>新宮川水系治水協定の事前放流ルールに基づき「奥吉野発電所治水協力実施要領」（R3.10.13）を規定して実施中。<br>－ | － |
| 37 | 水防拠点・河川防災ステーションの検討・調整及び整備の実施 | 応用 | 継続的に実施 | ▼河川防災ステーション整備の検討・調整・実施 | － | － | － | － | － | － | － | － | ● | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 未実施 | － | － | － |
| 38 | 水防資機材の搬入路の検討及び整備の実施 | 応用 | 継続的に実施 | ▼搬入路の検討、▼搬入路の拡幅・補強・新設等 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － | ● | － | － | － | 未実施<br>－<br>建設部 | 実施中<br>搬入路等の検討<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 実施中<br>おくとろ道路3期工事により実施中<br>－ | ※2<br>－<br>※2：搬入路必要箇所の判断基準はあるのか。また、堀込河道区間においても検討は必要か。 | 実施中<br>水防資機材倉庫の搬入路の舗装整備を実施予定。<br>－ | 未実施<br>－<br>－ | － | － | 未実施 | － | － | － |

## ■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R4）

【取組機関・オブザーバー】
●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】
・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新
・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組
・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

| | 取組項目 | 種別 | 目標時期 | 取組事例・取組イメージ | ① 取組機関 | | | | | | | | | オブザーバー | | | 取組機関 | | | | | | | | | | オブザーバー | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | JR西日本 | 和歌山県 | 新宮市 | 田辺市 | 北山村 | 三重県 | 紀宝町 | 熊野市 | 地方気象台 | 和歌山津地方気象台 | 近畿地整 | 電源開発 | 関西電力 | JR西日本 |
| **柱⑤：生活再建、社会経済活動を一刻も早く回復させるための排水活動・復旧・復興の実現** | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | 排水施設の確実かつ的確な運用に資する施設整備・維持管理 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼排水施設の点検、維持管理、▼水門・樋門の自動化、▼排水施設の耐水化、▼水門・樋門の操作演習 | ● | ● | ● | － | ● | ● | － | － | ● | － | － | － | 実施中<br>・浮島川排水機場の月2回の動作確認、月1回の電気設備点検<br>・浮島川排水機場第一ゲート操作盤、その他操作盤令和4年度改修予定<br>河川課、建設部<br>・萩樋門（熊野川）で自動化を計画 | 実施中<br>排水施設の点検、維持管理、水門・樋門の操作研修<br>－ | 実施中<br>萩水門、排水ポンプ施設の維持管理<br>－ | － | 実施中<br>年に1回点検を行う。<br>※ | 実施中<br>毎年、排水施設の点検・維持管理・操作訓練等を実施。<br>－ | － | － | － | 実施中<br>施設点検維持管理を実施、緊急地震速報時での水門・樋門の自動閉鎖訓練を実施、樋門操作講習会で水門・樋門操作を実施<br>－ | － | － | － |
| 40 | 排水訓練の継続及び検証、改善 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼排水ポンプ車配置訓練の実施、▼可搬式ポンプの使用訓練、▼排水計画の見直し | － | ● | ● | ● | － | ● | － | － | ● | － | － | － | － | 実施中（100%）<br>可搬式ポンプの点検及び使用訓練<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 未実施<br>－<br>ポンプによる排水を行わない | － | 実施中<br>継続的に実施中。<br>－ | － | － | － | 実施中<br>排水ポンプ車の使用訓練の実施<br>－ | － | － | － |
| 41 | 災害廃棄物処理計画の策定・改定 | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼災害廃棄物処理計画の策定、▼必要に応じた既存計画の改定 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － | － | － | － | － | 実施済（100%）<br>災害廃棄物処理計画を策定済み<br>循環型社会推進課 | 実施済<br>災害廃棄物処理計画の策定（R3）<br>－ | 実施済（100%）<br>令和３年６月に策定済み。<br>－ | 未実施<br>－<br>未策定 | 実施中<br>必要に応じて三重県災害廃棄物処理計画を改定する。<br>※ | 実施中<br>紀宝町災害廃棄物処理計画の策定済。<br>－ | 実施中<br>・熊野市災害廃棄物処理計画策定済<br>※ | － | － | － | － | － | － |
| 42 | 災害復旧のための自衛隊・水防団・報道機関との連携強化に資する取組 | 応用 | 継続的に実施 | ▼平時からの情報共有・連絡体制の確立、▼大規模災害発生を見据えた防災訓練等の実施 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | － | － | － | 実施中<br>・R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施<br>・陸上自衛隊等も参加の「津波災害対応実践訓練」や「災害対策本部総合統制室運営図上訓練」を実施<br>河川課<br>防災企画課 | 実施済<br>平時からの情報共有・連絡体制の確立<br>総合防災訓練の実施（R3）<br>－ | 実施中<br>平時からの情報共有と連絡体制の構築し、防災訓練等の実施している。<br>－ | 実施中<br>災害時要支援者個別計画の策定<br>訓練においては未実施<br>－ | 実施済（100%）<br>R4に近畿地整、和歌山県、関係市町村等と連携し、熊野川総合水防演習を実施<br>－ | 実施中<br>平時から、水防団（消防団）との情報共有を行うとともに、連絡体制も整備済。<br>－ | 実施中<br>・平時から自衛隊、消防団等と情報共有を行っている。<br>※ | 実施中<br>災害復旧のための支援は実施する機会がなかった。熊野川総合水防演習への参画。気象庁ホームページで雨量データなどを公開している。<br>－ | 実施中（完了1件）<br>「防災情報みえ連絡会」を開催し、報道機関を含む関係機関に対し、防災情報の普及・理解の促進を行っている。<br>－ | 実施中<br>熊野川総合水防演習の実施<br>－ | － | － | － |
| 43 | 水害対応版BCP作成、企業に対する作成支援 | 応用 | 継続的に実施 | ▼企業へのNo4の情報も含めた水害リスク、防災行動計画等の情報提供 | ○ | ● | ● | ● | ○ | ● | ● | － | ○ | － | － | － | 未実施<br>・中小河川の洪水浸水想定区域図を作成後、ホームページ等で公表を行い、情報提供する<br>（河川課）<br>（防災企画課） | 実施中<br>企業へのNo4の情報も含めた水害リスクの情報提供<br>－ | 未実施<br>検討段階に至っていない<br>－ | 未実施<br>－<br>No4が該当外 | 未実施<br>検討中<br>－ | 実施中<br>継続的に実施中。<br>－ | 未実施<br>－<br>－ | － | － | 実施中<br>災害情報普及支援室を通して実施中<br>－ | － | － | － |
| 44 | 地域防災計画の被災者支援の検証（避難所生活、仮設・復興住宅及び避難所用地の確保等） | 基礎継続 | 継続的に実施 | ▼被災者支援の取組事例の収集・共有、▼支援内容の検討 | ○ | ● | ● | － | ○ | ● | － | － | ○ | － | － | － | 実施中<br>・避難所生活について県で市町村向け「避難所運営マニュアル作成モデル」を作成し、市町村を支援<br>（防災企画課） | 実施中<br>被災者支援の取組事例の収集・共有、地域防災計画の修正（支援内容等）<br>－ | 実施中<br>地域防災計画における被災者支援の確認、見直しを継続して行う<br>－ | － | 実施中<br>市町の防災会議に出席し、市町防災計画の策定に関する支援・協力を行う<br>※ | 実施中<br>仮設・復興住宅用地を整備中。<br>－ | － | － | － | 実施中<br>県市町の防災会議において、県市町防災計画の策定に関する支援・協力を行う | － | － | － |

※進捗率は数値による管理が困難であるため未記入

※進捗率については、継続的に実施している取組みであり、数値では表せない内容であるため、完了1、全体1と記載している